※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 3021 |
|---|---|

# 令和８年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 日本史探究 | 単位数 | ３単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高校日本史　（山川出版社） | | | | | | |
| 副教材等 | 新詳日本史　（浜島書店）<br>高校日本史ノート　（山川出版社） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書の内容を基本として，図録等を活用して理解を深めていきます。歴史的用語を暗記するだけで終わらず，各事象の因果関係について理解し，日本の歴史の大きな流れを感じるようになってください。身近に存在する歴史遺産や文化財などに触れて，その内容や意味などを理解できるようになってください。

## 2　学習の到達目標

社会事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに，諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

(3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに，諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 | 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的･多角的に考察している。歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を身に付けている。 | 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。 |

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 原始・古代 | 日本文化のあけぼの | a：旧石器文化・縄文文化の成立と変化，水稲耕作の影響を理解している。<br>b：旧石器文化・縄文文化の社会について考察し，表現している。<br>c：農耕社会の特色や社会の変化について考察することを通じて,弥生文化の特色を明らかにしようとしている。 | 定期考査,<br>演習ノート | 定期考査<br>提出課題<br>演習ノート | 観察<br>提出課題<br>レポート<br>発表 |
| | | 古墳とヤマト政権 | a：中国大陸・朝鮮半島との関係に着目し,渡来人のもたらしたものが日本文化の基層にあることや推古朝の政治･飛鳥文化の特色について理解している。<br>b：ヤマト政権の発展や古墳文化の特色，仏教の受容や遣隋使･遣唐使の派遣などの大陸との交流について,考察し根拠を示して表現している。<br>c：中国大陸・朝鮮半島との関係に着目し，古墳文化･推古朝の政治･飛鳥文化の展開についての課題を主体的に追究しようとしている。 | 定期考査,<br>演習ノート | 定期考査<br>提出課題<br>演習ノート | 観察<br>提出課題<br>レポート<br>発表 |
| | | 律令国家の形成 | a：律令制の形成過程や仏教文化，平城京における律令体制の整備,平安初期の政治とその後の律令体制の変容について理解している。<br>b：律令体制，諸勢力の対立と土地制度の変容,桓武天皇や嵯峨天皇の政策について考察し，表現している<br>c：平城京における政治史・文化史の流れを主体的に追究しようとしている。 | 定期考査,<br>演習ノート | 定期考査<br>提出課題<br>演習ノート | 観察<br>提出課題<br>レポート<br>発表 |
| | | 貴族政治の展開 | a：律令体制の変容の観点から摂関政治や地方社会の変容を理解している。<br>b：摂関政治の特質，土地制度の変化について,史料を読み取りながら考察し，根拠を示して表現している。<br>c：摂関時代の政治の在り方と文化の関係を考察している。国司や地方支配の在り方の変化,武士の出現などが政治･社会に与えた影響を明らかにしようとしている。 | 定期考査,<br>演習ノート | 定期考査<br>提出課題<br>演習ノート | 観察<br>提出課題<br>レポート<br>発表 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 中世 | 院政と武士の進出 | a：院政期における武士の影響力の拡大や平氏政権の展開について資料を読み取り,武家政権の成立について理解している。<br>b：武士の土地所有に至る変化，歴史における土地の支配や所有がもつ意味について多面的･多角的に考察し表現している。<br>c：中世社会の特色について多面的・多角的に考察し,同じ時期に政治的な力をもつ勢力が複数存在していたことなど,中世の特色を探究しようとしている。 | 定期考査,<br>演習ノート | 定期考査<br>提出課題<br>演習ノート | 観察<br>提出課題<br>レポート<br>発表 |
| ２学期 | 中世 | 武家政権の成立 | a：源平の争乱から執権政治確立までの歴史過程,モンゴル襲来の国際的な背景や国内政治への影響について理解している。<br>b：幕府と朝廷の二元的支配構造の特色と鎌倉時代の社会の変動･御家人の窮乏について多面的・多角的に考察し，表現している。<br>c：鎌倉時代を通じた武家の支配の特質について主体的に追究しようとしている。 | 定期考査,<br>演習ノート | 定期考査<br>提出課題<br>演習ノート | 観察<br>提出課題<br>レポート<br>発表 |
| | | 武家社会の成長 | a：日明貿易と琉球やアイヌの文化の形成を理解している。諸資料から守護大名と戦国大名の相違点などの情報を読み取り,戦国大名の領国統治の特徴を理解している。<br>b：南北朝の動乱や室町文化と政治や経済の動向を多面的・多角的に考察し，根拠を明らかにして表現している。<br>c：室町時代に成立した村の自治や戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を主体的に追究しようとしている。 | 定期考査,<br>演習ノート | 定期考査<br>提出課題<br>演習ノート | 観察<br>提出課題<br>レポート<br>発表 |
| | 近世 | 近世の幕開け | a：織豊政権の特色や貿易・対外関係,安土桃山時代の文化が幅広い国際性を持っていたことを理解している。<br>b：織豊政権の諸政策，豊臣政権による朝鮮出兵から,対アジア認識を含め一連の政策のもたらした影響について多面的･多角的に考察し，表現している。<br>c：豊臣政権の政策が村落・都市や対外政策に与えた影響を追究しようとしている。 | 定期考査,<br>演習ノート | 定期考査<br>提出課題<br>演習ノート | 観察<br>提出課題<br>レポート<br>発表 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 幕藩体制の成立と展開 | a：幕藩体制下の支配体制，産業の発達と多様化，商品経済・流通の発達，都市の経済的繁栄について理解している。<br>b：幕藩体制の特質，江戸幕府による貿易統制，禁教の徹底や，琉球･朝鮮･蝦夷地との交易などについて多面的・多角的に考察し，表現している。<br>c：江戸幕府の鎖国政策について，主体的に追究しようとしている。幕藩体制が安定していくなかで上方の豪商との関係性を踏まえ，17 世紀の文化の特色を明らかにしようとしている。 | 定期考査，<br>演習ノート | 定期考査<br>提出課題<br>演習ノート | 観察<br>提出課題<br>レポート<br>発表 |
| | | 幕藩体制の動揺 | a：列強の接近にともなう事件や幕政改革に関する諸資料を読み取り，幕府権力が衰退し，雄藩が出現する過程を理解している。<br>b：幕藩体制の動揺について多面的・多角的に考察し，根拠を明らかにして表現している。<br>c：幕藩体制下の社会・経済の仕組みの変化について課題を見出し，主体的に追究しようとしている。 | 定期考査，<br>演習ノート | 定期考査<br>提出課題<br>演習ノート | 観察<br>提出課題<br>レポート<br>発表 |
| | 近代・現代 | 近世から近代へ | a：江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯や貿易がおよぼした影響，幕藩体制の崩壊と新政府の成立について理解している。<br>b：日本の政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し，表現している。<br>c：日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し，開国のもたらす経済的･社会的影響について主体的に追究しようとしている。 | 定期考査，<br>演習ノート | 定期考査<br>提出課題<br>演習ノート | 観察<br>提出課題<br>レポート<br>発表 |
| | | 近代国家の成立 | a：明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉，文明開化の風潮，自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。<br>b：諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較，欧米の思想･文化の影響などを多面的･多角的に考察し，表現している。<br>c：明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題を見出し，主体的に追究しようとしている。 | 定期考査，<br>演習ノート | 定期考査<br>提出課題<br>演習ノート | 観察<br>提出課題<br>レポート<br>発表 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | | 近代国家の展開と国際関係 | a：日清・日露戦争の前後における条約改正の実現,韓国併合や満洲への勢力拡張などについて理解している。<br>b：第１次世界大戦中の日本の動向を踏まえ,アジアや欧米諸国との関係がどのように変容したのか,しなかったのかを考察し，表現している。<br>c：対外的な戦争が日本の近代化の過程のなかでもった意味を考察し,主体的に追究しようとしている。 | 定期考査,<br>演習ノート | 定期考査<br>提出課題<br>演習ノート | 観察<br>提出課題<br>レポート<br>発表 |
| | | 近代の産業と生活 | a：産業革命の展開や学問・芸術・出版･マス＝メディアの発展について諸資料から情報を読み取り,社会風潮との関連を理解している。<br>b：産業全般の変化や労働問題や公害問題の発生について多面的･多角的に考察し，表現している。<br>c：産業の発展とそれによって発生した社会問題への対応について課題を見出し,主体的に追究しようとしている。 | 定期考査,<br>演習ノート | 定期考査<br>提出課題<br>演習ノート | 観察<br>提出課題<br>レポート<br>発表 |
| | | 恐慌と第二次世界大戦 | a：世界的な経済恐慌のもとでの国内の経済対策と経済の動揺,満洲事変に際しての軍部の台頭と対外政策,戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。<br>b：満洲事変などの対外政策，戦争が拡大した理由,日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的･多角的に考察し，根拠を示して表現している。<br>c：日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて,第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。 | 定期考査,<br>演習ノート | 定期考査<br>提出課題<br>演習ノート | 観察<br>提出課題<br>レポート<br>発表 |
| | | 現代の世界と日本 | a:戦後の諸改革，日本国憲法の制定,日本経済の成長,高度成長期の国民生活,バブル経済以降の経済状況などについて理解している。<br>b：日本の経済復興や高度成長，冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的･多角的に考察し，その結果を表現している。<br>c：戦後改革や高度経済成長がもたらした日本の変化を踏まえた国内政治･経済の課題，冷戦終結後の国際社会において日本が果たした役割と課題を見出して主体的に追究しようとしている。 | 定期考査,<br>演習ノート | 定期考査<br>提出課題<br>演習ノート | 観察<br>提出課題<br>レポート<br>発表 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度